

## 今日のトピック インドの経済・市場動向（2018年8月後半） 株式市場は高値更新、インドルピーは安値更新

【インド市場の推移】

インド市場	基準日	騰落率または変化幅 (%)			
	8月20日	1週間	1か月	6か月	1年
為替レート					
円/ルピー (円)	1.58	▲0.4	▲2.6	▲4.8	▲7.4
ルピー/米ドル (ルピー)	69.83	▲0.1	1.4	7.8	8.9
金利					
政策金利 (%)	6.50	0.0	0.25	0.50	0.50
10年国債利回り (%)	7.84	0.0	0.1	0.2	1.3
株式指数					
SENSEX (ポイント)	38,278.75	1.7	4.9	13.6	21.4

(注) データは2018年8月20日基準。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(ポイント) 【インドの株式と通貨】 (ルピー/米ドル)



(注1) データは2017年8月20日～2018年8月20日。  
(注2) ルピー/米ドルは逆目盛。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### ポイント1 インド株式市場は最高値更新 好調な経済指標などから買いが継続

- インド株式市場は、トルコリラが急落したことを受けて、資金流出懸念から他の新興国株式市場が幅広く売られるなかでも、堅調に推移しています。主要株式指数のSENSEXは、20日に過去最高値を更新しました。6月の鉱工業生産が前年同月比+7.0%、7月の消費者物価上昇率は同+4.2%と6月の同+4.9%から鈍化するなど、経済指標は総じて良好です。業績拡大期待から投資家の買いがインド株式市場に入っています。

### ポイント2 インドルピーは対ドルで最安値更新 対円でも一段安

- 一方、トルコリラの急落に伴い新興国通貨に下落圧力がかかるなか、經常赤字国でインフレ率が高いインドの通貨ルピーには売りが膨らみ、対米ドルで最安値を更新しました。また、投資家のリスク回避姿勢が強まるなかで、安全資産とされる円も買われたことから、インドルピーは対円でも大きく下落し、2016年11月以来の安値水準をつけました。

### 今後の展開 今後の金融政策は現状維持の公算

- インドの7月の消費者物価上昇率が前月から鈍化したことで、インド準備銀行（RBI）が次回10月の金融政策決定会合で政策金利を据え置く可能性は高まったとみられます。ただし、インドルピーの下落が続いていることや、RBIが需給ギャップは解消したと判断していることから、先行きは利上げ方向と考えられます。
- 株式市場は好地合いが続いており、インド経済の成長加速や企業業績の拡大を背景に今後も底堅い展開が期待されます。

ここも  
チェック! 2018年8月7日 アジア・マンスリー（2018年8月号）  
2018年8月2日 インドの経済・市場動向（2018年8月前半）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。